
エロゲー2

usugeatama

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エロゲー2

【Nコード】

N4706N

【作者名】

usugeatama

【あらすじ】

平行宇宙を扱った小説です。

？僕はいつものように、夢中でパソコンに向かっていた。

？まあ、要するに、僕はオタクなわけだが、人とはちよつと変わっているかもしれない。コンピュータ上で世界を創るのが趣味なのである。

？今回はちよつと面白い実験を試してみようかと思っている。僕が創る世界の中の登場人物に、彼自身の宇宙の構成に参加してもらおうという試みである。

？既に世界は創つてある。後は、その世界の中の誰を選ぶか、だ。
？僕は文字データで、世界の中の人物を検索していた。

？不意に、窓ガラスが割れ、部屋が煙でいっぱいになった。僕は気を失った。

？…気がつくと、僕は、施術台の上に寝かされていた。心臓の鼓動を追う電子音が鳴っている。

「気がつきましたか？」

？女性の声がした。

「…僕ですか？」

「そう、ヒロシさん、あなたです」

「どうして僕はここにいるんですか？」

「あなたは逮捕されたんです」

「…何の罪で？」

「国家保安法違反です」

？国家保安法？俺、何かしたっけ？

「あなた、コンピュータ上で宇宙を創りましたよね」

「はい。…それが国家の安全を脅かす行為なんですか？」

「そうです」

？彼女の返事は確信にあふれていた。

「あなたは自分の創世した宇宙の住民の女性に、彼女の住む宇宙の運営に参加させようとしていた」

「…そうですが、それが何か…」

「彼女が何を趣味にしていたか知っていますか？」

「いいえ」

「あなたと同じ、宇宙の創世です」

「それは知らなかった」

？僕は本当にそれを知らなかった。

「それだけではありません。彼女が創った宇宙、それが、私たちの住んでいる、この宇宙なんです」

??！

「そんなバカな…」

？僕はつぶやいた。

「確かにバカな話ですが、それが事実なんです。あなたが彼女の宇宙を創り、彼女が我々の宇宙を創った。私たちの世界は、あなたが創った世界の住人の思いがままです。これは国家の危機以外の何ものでもない。だからあなたは逮捕、保護されました。これからあなたは完全な国家の管理下、保護下に置かれます」

？僕は声が出なかった。

「あなた方は両方の世界を自由にコントロール能力をもっています。それが我々両方の世界の政府には脅威です。だから、あなたと向この世界の彼女は収監されることが決定しました。私からは以上です」

？部屋が暗くなった。

？閉じ込められてから何日たったのだろう。何も情報が与えられない状態が続いていた。

？不意に扉が開いた。

「こんにちは」

？僕に話しかけていた女性の声だった。知的な、スラリとした体型の美人だった。

「こんな所に閉じ込めておいたのに都合のいい話なんだけど、お願いがあつて来たの」

？僕はなぜか彼女には嫌悪感をもてなかった。目だろうか。澄んだ目をしているからだ。

「どうしたんですか？」

「それが、あちらの宇宙の政府と、安全な両宇宙の管理について、色々試行錯誤したんだけど、うまくいかなくて…」

？彼女の表情には真剣な苦悩が読み取れた。

「それで、あなたと、向こうの世界の彼女に協力を求めるしか選択肢がなくなつて…」

？しばらくの沈黙のあと、僕は答えた。

「僕はいいですよ。彼女が何というかはわからないけど」

？僕はほとんど真つ暗な巨大な空間の真ん中に、ポツリと置かれた椅子に座っていた。

「もう少しで彼女の水ログラムが出せるわ。少し待つて」

？僕と彼女が連絡をとるために、世界中のスーパーコンピュータが集められ、一流の技術者たちが僕らのために寝る間を惜しんで働いているそうだ。

？彼女が現れた。スカイブルーのショートヘア、ブラウンの瞳。可愛らしい女性だった。緊張に震えているようだった。

「はじめまして。名前は何というんですか？」

？僕はたずねてみた。

「あなたには多分発音できないと思うわ」？

「僕はヒロシ」

「ヒト、ヒモ…やっぱり無理…」

「じゃあ、君って呼んでいいかな？」

「いいわよ」

？僕らははじめて二人して少し微笑んだ。

？他愛のない話のあと、彼女が真剣な表情になった。

「あなた、私たちの世界がどうなってるか知ってるでしょう？」

「うん。あちこちで戦争や内乱が起こっている」

「世界中が荒廃してる。あなたがそうしたの？」

「いいや、色々手は打っただけ、そうなるのを止められなかった」

「だから私は、せめてコンピュータの中だけでも平和な世界を創ろうとした…」

「平和な世界が望みなんだね。じゃあ…」

「ダメ！」

？横から声が入った。政府の女性の声だ。

「あなたの右手を見て！」

？僕は自分の手を眺めた。薄くかすんでいる。左手で右手をつかもうとしたが、すりぬけた。

「世界に介入しようとする、世界自体が消えていこうとするの。わかった？私たちがどうしてあなた達を呼んだのか」

？彼女が悲しそうな表情になった。

「あなただったら変えられると思ったのに…」

？彼女は椅子から立ち上がった。そして、見えなくなった。

「どうしたんですか？彼女は？」

「わからない。でも…」

？その時、両方の世界が終わった。

？「無」がすべてだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4706n/>

エロゲー2

2010年10月9日17時57分発行